

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 35-001

PDCA	事務事業名	医事・診療報酬請求事務事業	部課等名	半田病院 事務局 医事課 医事担当	担当	小城	
					内線等	1111	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第3節 健康増進と医療体制の充実 基本施策： 3. 半田病院 単位施策： (2) 健全な経営の推進 個別施策： ②経営の効率化					
	根拠法令等	健康保険法、高齢者医療確保法					
	対象・目的	審査機関である「国民健康保険団体連合会」及び「診療報酬支払基金」に対するレセプト請求を適正に行うことで、医業収益の確保を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	レセプト点検ソフトの精度向上及び、保険医療検討委員会における査定分析等を行うことで、査定率を抑制する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		レセプト請求件数	148,288	149,390	135,022	千円	
		保険医療検討委員会の開催数	11	12	10	回	
		事業費					
		人件費					
		総事業費					
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		査定率	実績値	0.21	0.18	0.24	%
		目標値	0.23	0.22	0.20		
			実績値				
			目標値				
			実績値				
			目標値				
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	低い	⑤成果向上の余地	ある		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—
	事業の評価・課題	C					
		レセプト点検ソフトの精度向上や、保険医療検討委員会（毎月開催）での査定内容の分析、対応方法の検討及び医師等への周知により査定率の抑制を図った。一方で、収益増のために査定の可能性のあるレセプトについても自己査定することなく積極的に請求を行った結果、査定率は0.24%となり、目標値である「0.20%以下」の達成には至らなかった。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
			レセプト点検体制の強化や査定内容の分析、対策の検討等を引き続き実施するとともに、査定率の低減のみにこだわることなく、必要以上に自己査定を行わず積極的に報酬請求し、収益の確保、増収を図っていく。				
		令和3年度の目標	成果指標	目標値		単位	
			査定率	令和2年度で評価終了			